



千葉大学
分子キラリティー研究センター
Molecular Chirality Research Center
Chiba University

分子シグナル研究部門
「生理機能と分子標的創薬」研究グループ 勉強会
キックオフミーティング

開催日時： 平成28年4月25日（月）18:00～
開催場所： 医学部本館3階 薬理学教室 図書室

生体の恒常性が破綻することで生じる疾患・病態の改善には「薬物」による治療は重要な役割を担っています。中でも臨床医学で用いられる治療薬の多くは細胞膜に存在するレセプター・チャネル・トランスポーターなどの膜タンパク質をその標的としております。主要な薬物受容体であるこれら膜タンパク質の基質（リガンド）のキラリティーはその認識機構とそれに続くシグナル伝達の特異性に影響する重要な因子と言えます。本研究グループでは主にキラル認識の生理機能変化の分子機序解明から疾患・病態との関連性を明らかにする中で、膜タンパク質を分子標的とするキラル化合物創生による創薬を目指し立ち上げられました。

今月から毎月第4月曜日の夕方に勉強会を開催し、「分子キラリティー」に基づく生理機能の差異と分子標的創薬の可能性を探る中で、学部横断型の共同研究の推進につながればと考えております。ご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちいたしております。

分子シグナル研究部門 リーダー

理学研究科 村田武士

生理機能と分子標的創薬 研究グループ

医学研究院 安西尚彦

医学研究院 橋本謙二

医学研究院 降幡知巳（内線 5162）